

神奈川県立金沢支援学校 学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立金沢支援学校 第3回学校運営協議会・学校評価部会・学校設置部会		
開催日時	令和8年2月25日(水)		
開催場所	金沢支援学校 会議室		
(役職名) 出席者	令和7年度金沢支援学校 学校運営協議会委員10名(本校校長を含む) 令和7年度金沢支援学校 学校運営協議会事務局教職員12名		
次回開催予定日	令和8年 月 日() 予定		
問い合わせ先	金沢支援学校 副校長 川島 結子 電話 045-770-0456 Fax 045-775-4121		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>内容：令和7年度金沢支援学校 学校運営協議会委員10名から学校運営に係る1について承認をいただきました。2について事務局から説明し、ご意見をいただくよう依頼しました。</p> <p>1 学校評価部会 令和7年度学校目標(年間評価)</p> <p>2 切れ目ない支援部会、学校防災部会</p>		
会議資料	<p>資料1 1年間の目標(年間評価)</p> <p>資料2 学校評価アンケート</p> <p>資料3 切れ目ない支援部会</p> <p>資料4 学校防災部会</p> <p>参考資料 令和8年度 教育活動に係る見直しについて</p>		
議事録	<p>会長挨拶</p> <p>感染症が流行りピリピリした中、本日は恵の雨となった。1年間の反省の回となる。忌憚のない意見をよろしくお願いします。</p> <p>学校長挨拶</p> <p>第2回、3回それぞれの立場でご意見をいただいていたことに感謝。来年度は児童生徒数が県内最多の348名になる予定。教室転用工事も進めていく。スクールバスが3台増車。前回ご意見いただいた耐震対応は西側から進めている。いただいたご意見は重みを持って受け止め、実現可能なことは実行していきたい。本日も忌憚のないご意見を。卒業式は是非ご覧いただきたい。</p> <p>1 学校評価部会</p> <p>(1) 肢体不自由教育部門(小中高)</p> <p>防災学習の充実、来年度位置づけたい。地域との協働、専門職等の活用も引き続き行う。隙間時間で研修を行う工夫をする。</p> <p>(2) 知的障害教育部門 小学部</p> <p>専門職等と協働し専門知識の向上をめざした。今後も続ける。</p> <p>(3) 知的障害教育部門 中学部</p> <p>専門職との連携についての報告 「町の先生制度」活用した。</p> <p>(4) 知的障害教育部門 高等部(本校)</p> <p>近隣地域支援の活用を進め、相互理解につながった。</p>		

- (5) 横浜氷取沢分教室
清掃技能検定自校開催 SSTを通して自分の取扱説明書を作成する。
- (6) 教務グループ
業務の整理と効率化を進めた。チャットで意見交換 授業力向上につなげる。
- (7) 指導健康グループ
情報量調整 Q体制は1枚のシートと動画で動きの確認等工夫を行った。
- (8) 総務グループ
会計管理の合理化と業務アシスタント活用の報告 ネット決済増やす。
- (9) 連携支援グループ
地域の先生方に支援・進路の研修会実施。PTAの協力に感謝

(校長補足)

第1回から働き方改革の話をしてきた。会議の精選、業務の効率化、業務アシスタントの活用等 3割の遊びを持って働く。ウェルビーイング向上を次年度も推進していく。

●委員より意見

A委員：支援教育推進会議に参加している。通常学級をどうするかが課題。定期的な巡回相談が必要ではないか。→依頼を積極的に出してもらうことをねらう。隙間時間の研修は大切。最初に作った目標が共有されているのがよい。

校長：小中学校の教員が発達障害の児童生徒を見立てる力が上がってきた。センター的機能の成果。高校はまだ弱い。副校長会議でも説明し、依頼が増えた。

B委員：仕事も遊びがないといけない。働き方改革をしっかりとやって、時にはNOを言える勇気をもってやってほしい。人材確保が難しいのではないかな。

校長：特別支援の免許がなくても受験できるように変わった。給料も上昇傾向。

C委員：ミニ研修や外部講師の活用など良い取り組みをしている。生徒がつくる自分の取扱説明書は企業まで引き継がれるようにしてほしい。業務改善に向けた会議、資料の精選など教務グループの取組は数値化できると良い。企業にはストレスチェックの義務がある。在学中に模擬・プレをやってほしい。

D委員：業務の効率化にICTを取り入れる必要性を感じる。父母の会は療育センターでも縮小の流れがある。南部は細々と続いている。サポートしていく。

E委員：児童生徒数の増加、事業所も頑張っていないといけない。

F委員：4年生のボッチャ交流、盛り上がった。初任者の訪問を子どもたち喜んでいた。センター的機能は日常的な支援として活用したい。作品展の出展に感謝。

G委員：PTA活動について、全員が入る時代ではなくなっている。横のつながりを持ち、気持ちを共有しながら教育活動を見守っていく。

A委員：高校のPTAなど参考にしながらやってほしい。

(10) 学校評価アンケート

保護者の回答率は下がったが教員は上がった。紙とWebを併用。ICTと専門職の活用は丁寧に説明する必要がある。今後も通信等で発信していく。

2切れ目ない支援部会、学校防災部会

(1) 切れ目ない支援部会

小・中は横の支援、高等部は縦の支援が多くみられた。今後も量広げ、質を磨く。

(2) 学校防災部会

学校安全委員会、分教室防災授業等の報告

●副校長より

教育活動に係る見直しについて、令和8年度は全学部で下校時間の変更を行う。教員のウェルビーイングの向上を目指す。

会長挨拶

委員の皆様はそれぞれツールを持っている。たくさんの意見をいただいた。また学校からも取組報告の発表があった。身になる会となった。ありがとうございました。

以上